

令和3年度 社団法人
岐阜県臨床検査技師会 精度管理報告会

各研究班精度管理調査結果報告

病理検査

片桐恭雄（岐阜大学医学部附属病院）



【はじめに】

病理検査における精度管理は日常業務のレベル向上や知識習得を目的として行っている。

令和3年度は技術的調査として脱脂標本の作製，写真問題として廃液をテーマとした教育問題を出題し，精度管理調査を行なった。

【サーベイ概要】

実施項目：脂肪組織のパラフィンブロック作製と
薄切及びHE染色

指定内容：送付した脂肪組織を1晩ホルマリン
固定し，脱脂及びパラフィンブロック
作製を実施．薄切はスライドガラス
2枚作製し，1枚はHE染色を実施し
提出する．

薄切への影響

脱脂なし



脱脂あり



【サーベイ概要】

実施項目：フォトサーベイ(教育問題)

指定内容：設問文章および写真を観察し，解答をJAMTQCのコメント入力で行う。
各項目の解答は400文字以内。

【参加施設数】

申し込み:20施設

・・・昨年19施設のため1増

【評価】

部門員7名(認定病理技師5名含)で評価を行った。

【評価項目】

脂肪標本の作製

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ・スライドガラスの汚れ | 良(2点), 可(1点), 不可(0点) |
| ・切片の状態(亀裂, 皺, めくれ, 散り, 面出し) | 良(4・3点), 可(2・1点), 不可(0点) |
| ・脂肪組織の構造 | 良(2点), 可(1点), 不可(0点) |
| ・切片の厚さ(3-4 μ mを指定) | 良(2点), 可(1点), 不可(0点) |
| ・パラフィンブロックの状態(表面の凹凸) | 良(2点), 可(1点), 不可(0点) |

写真問題 適正・許容範囲・不適正
(評価対象外)

以上の項目について評価を行い、最終的に合計12点満点で総合評価した。

【総合判定・評価について】

判定A・評価○ (合計12-10点)

目的を十分に達している.

判定B・評価○ (合計9, 8点)

目的を達しているが改善の余地がある.

判定C・評価△ (合計7, 6点)

病理診断に支障をきたす可能性がある.

判定D・評価× (合計5点以下)

病理診断に支障をきたす可能性が十分にある.

各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)

評価基準

- スライドガラスの汚れ
コンタミ(他組織, 皮膚扁平上皮など)は無いか, 封入状態はどうか 等
- 切片の状態(亀裂, 皺, めくれ, 散り, 面出し)
面出し不足はないか
組織に大きな亀裂はないか(結合組織の乖離は許容)
皺や剥がれ, めくれなど目立たないか
薬液浸透不足で組織が散っていないか
- 脂肪組織の構造
組織中心部の脂肪構造は張りのある構造をしているか
- 切片の厚さ(3-4 μ mを指定)
標本が厚過ぎたりしていないか(2重のような脂肪構造)
- パラフィンブロックの状態(表面の凹凸)
パラフィンブロック表面は薬液浸透不足の影響で凹が起きていないか
薬液浸透不良が垣間見れる現象が起きていないか

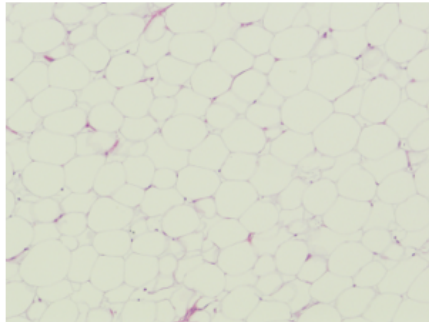
各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)

補足事項

脱脂方法 事前検討結果

以下の条件で脱脂・標本作製し良好な結果を得た。

写真



脱脂液

キシレン：アルコール＝6：4混合液

脱脂時間

50℃8時間 及び 室温 10時間

合計 18時間

自動固定包埋装置

overnight 処理

今年度評価判定項目

- 1 スライドガラスの汚れ
- 2 切片の状態(亀裂, 皺, めくれ, 散り)
- 3 脂肪組織の構造
- 4 切片の厚さ(3-4 μ mを指定)
- 5 パラフィンブロックの状態(表面の凹凸)

前回実施時の減点内容

- ・ ガラスの汚れ；扁平上皮細胞や他組織のコンタミ
- ・ 切片下の気泡
- ・ 組織上の亀裂, 染色ムラ(厚さムラ)
- ・ 脂肪構造の崩れ
- ・ 面出し不足
- ・ パラフィンブロック面の凹凸
- ・ 切片が厚い(または薄い)
- ・ 切片の収縮(ブロック面と比べて)

事前に検討結果を開示し、
評価内容も公開した。

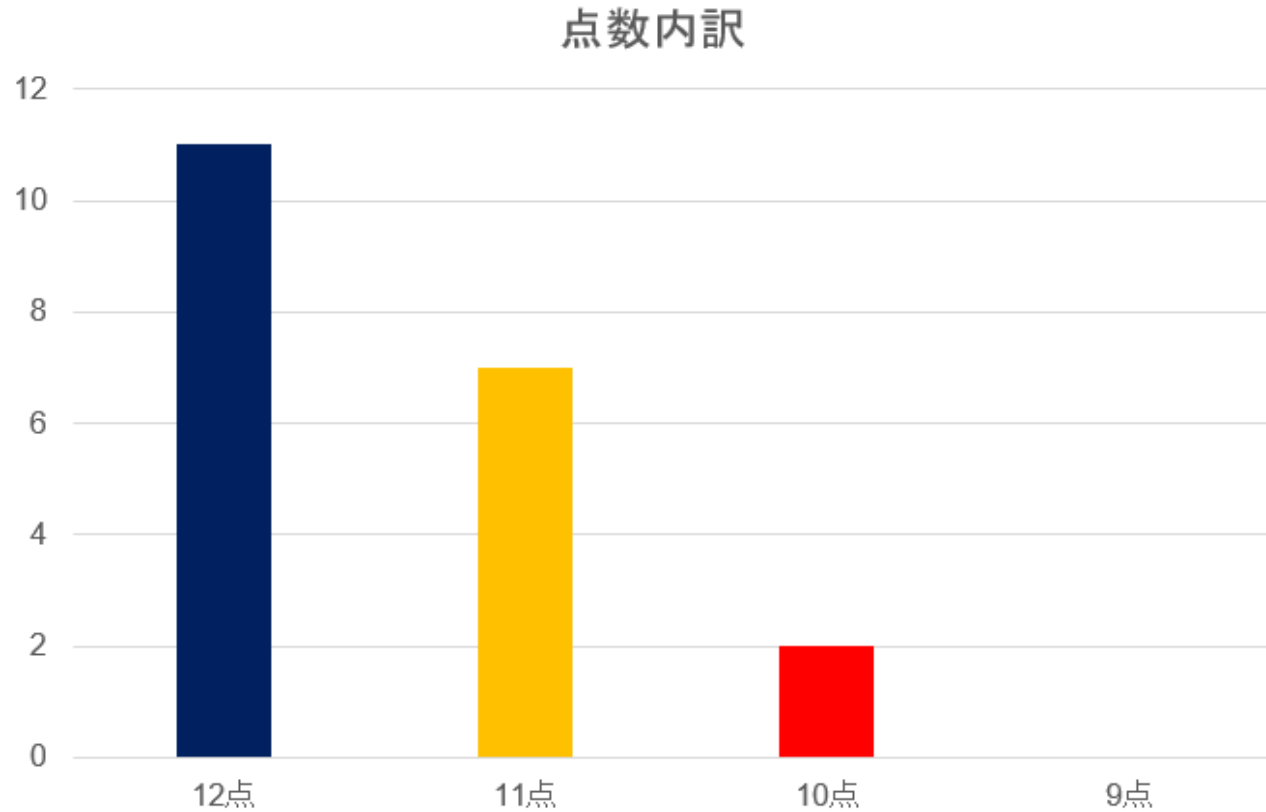
【最終報告】

参加施設数:20施設

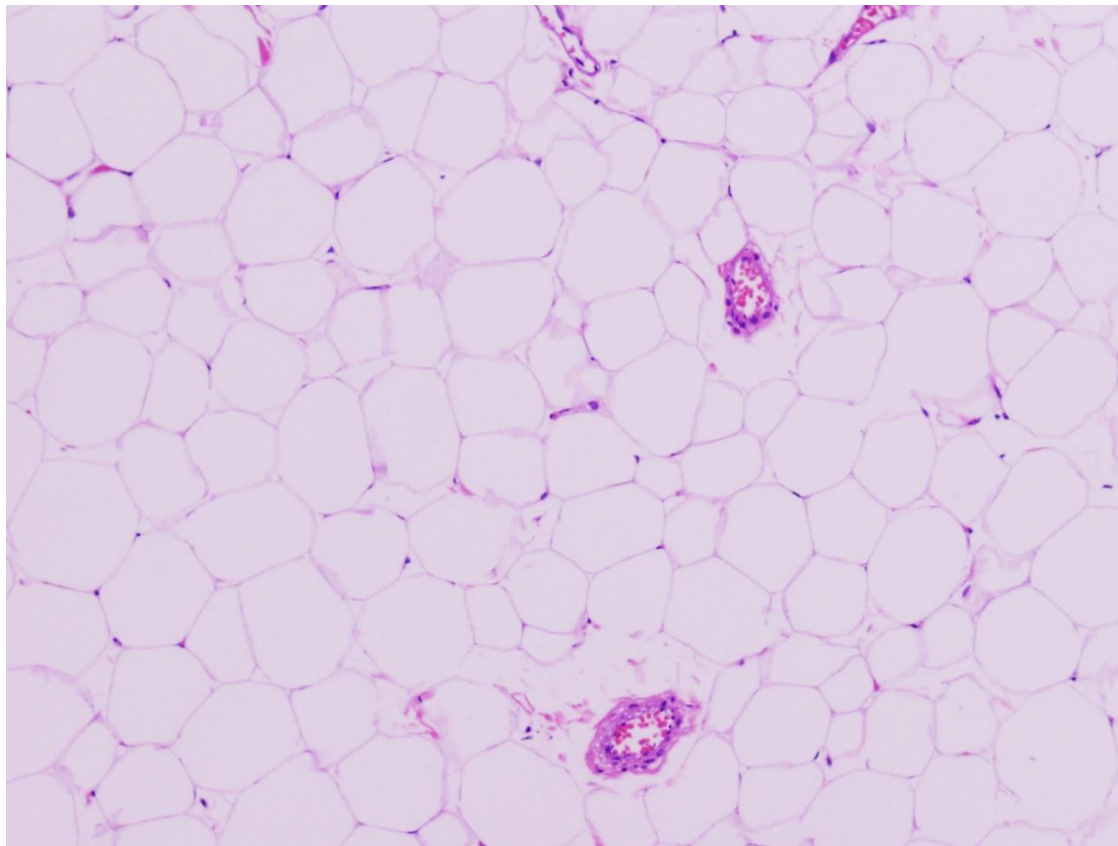
総合判定

判定	A	B	C	D
評価	○		△	×
施設数	20	0	0	0

各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)



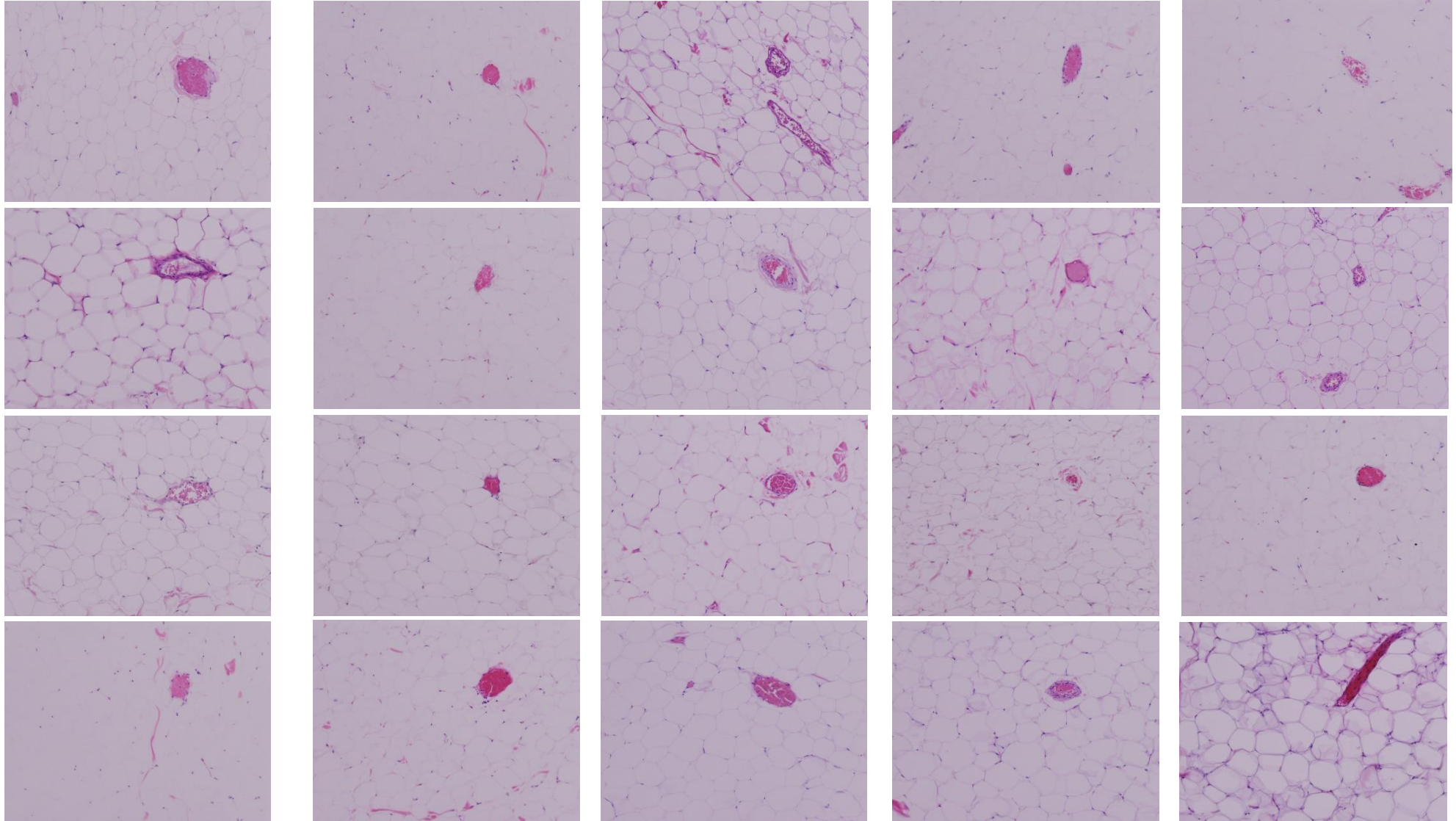
良好であると判定した施設



- コンタミ等なし
- 亀裂や剥がれなし
- 脂肪構造良好
- 切片厚良好
- ブロック表面良好

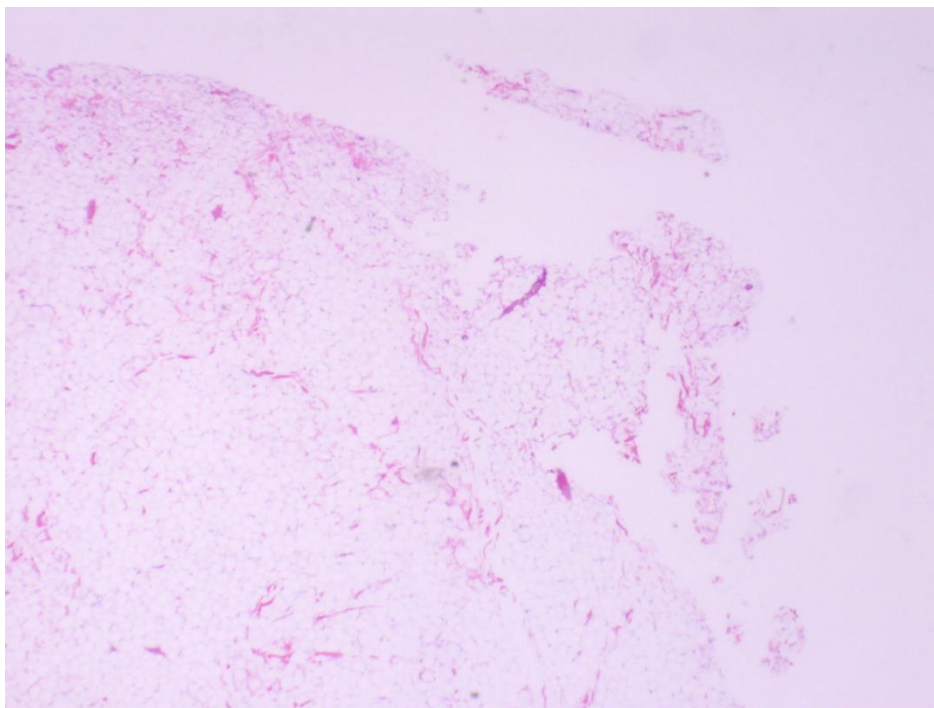
各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)

各施設写真

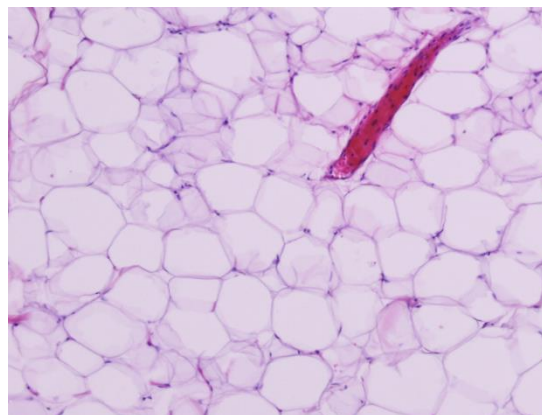


【減点内容】

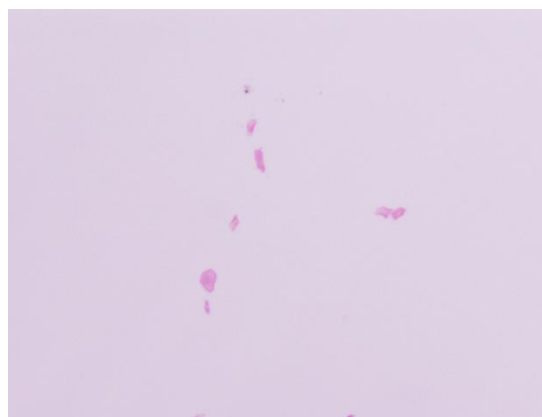
面出し不足



切片の厚さ



ガラスの汚れ



教育問題

病理検査室に入った新人技師に自動固定包埋装置の薬液交換後のキシレン廃液処分を指示したところ、写真のように流し台に直接廃棄するという事例が発生し、あなたはその施設から相談を受けました。

この施設の状況は、病理検査室独自に廃液処理の取扱いを定めた手順書はなく、記録は発注量と受領数の数量管理のみを行っているようです。

あなたはどのような運用方法を助言するか、記載してください。



各施設の主な解答リスト

- 廃液容器の置き場を明確にする(案内板など)
- キシレン容器自体に廃液方法を記載する
- 流し台に流してはいけない薬品リストと注意喚起
- 積極的に新人には有機溶剤作業主任者技能講習を受けさせる
- 取り扱い間違い時の緊急対応
- 記録が不足している
- 手順書の作成
- 教育方法の見直し・再教育

全ての施設で良好な解答が得られた. 適正判定:20施設

まとめ

- ・参加20施設すべてがA判定と大変良好な成績であった。
- ・今年度も新型コロナウイルス感染症の影響を心配したが、感染対策を取り、顕微鏡を囲んでの評価を実施した。
- ・今回は平成26年度実施した脱脂に関する精度管理調査を実施した。各施設で経験値が上昇しており、評価時に頭を悩ませられるような標本は認められなかった。
- ・今年度も事前の研修会を開催できなかったが、後日部門研修会にて、精度管理報告会の他に、薬品管理について学べる講演を部門長より準備していただいた。
- ・岐阜県は技術的な評価を要求する施設が多い傾向があり、次年度も技術的調査を主軸に実施できるよう調整していく。

各部門 精度管理調査結果報告(病理検査)
